

## 社会主義と戦争の記憶：キューバ映画上映会

# 犬と狼のあいだで

上映作品：『犬と狼のあいだで』

概要：独立後のアンゴラの主導権をめぐって米ソが対立したアンゴラ内戦に、キューバは1975～1988年の間に30万人以上もの兵士を送り出した。『犬と狼のあいだで』は、かつてアンゴラに派遣された3人の元兵士がキューバのジャングルを彷徨い、戦争の記憶と向きあう姿を記録した、ドキュメンタリー／フィクションである。上映後には、監督とのトークも交えながら、越境する社会主義の理想と戦争の関係、そしてその記憶をいかに表象できるかについて議論を深める。

監督：イレーネ・グティエレス

2020、スペイン・キューバ・コロンビア  
スペイン語、75分、英語/日本語字幕つき

主催：科学研究費補助金・基盤研究(B)  
「社会主義文化のグローバルな伝播と越境  
—「東」の公式文化と「西」の左翼文化」  
(代表者：越野剛・慶應義塾大学)

共催：東京外国語大学総合文化研究所、  
東京外国語大学TUFS Cinema

2022年

# 8月5日

15:00上映開始(開場14:40)

【金】

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール  
(東京都府中市朝日町3-11-1)

プログラム

司会：濱治佳(山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局)

15:00～15:15: 趣旨説明 久野量一(東京外国語大学)

越野剛(慶應義塾大学)

15:15～16:30 『犬と狼のあいだで』上映

16:40～17:00 解説 新谷和輝(東京外国語大学大学院)

17:00～18:30 トーク&質疑：

イレーネ・グティエレス監督(交渉中、オンライン参加)  
濱治佳、新谷和輝

事前登録制



入場無料／先着順／  
事前登録(定員250名)

登録フォーム

<https://forms.gle/Be6Gvr6icz0KU9pMA>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をしていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方優先させていただきます。

※感染対策のため、必ずマスクを着用の上、ご来場ください。

【お問合せ】

東京外国語大学 広報・社会連携室  
(TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5867**  
(平日9:00-17:00)

Email [tufscinema@tufs.ac.jp](mailto:tufscinema@tufs.ac.jp)  
Facebook [f @tufscinema.pr](https://www.facebook.com/tufscinema)  
Twitter [t @tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

詳細はTUFS Cinema ウェブサイトにて  
<http://wp.tufs.ac.jp/tufscinema/>

